

2026年度 大学院入試（2月期）（英語英文学専攻）

修士課程 「英語」

（2026年2月18日実施）

合否判定の方法 《専門科目》《英語》《口述試験》

専門科目（100点）、英語（100点）および口述試験（4段階評価）により評価する。

合否判定の基準 専門科目：60点以上、英語：60点以上、口述試験:C以上いずれも満たすこと。

《英語》100点満点

出題意図

1. 主要ポイントの網羅性 (40点)

- 言語学者による丁寧さの分析手法は多様であり、各アプローチの主な相違点は、話者に焦点を当てるか、それと聞き手に焦点を当てるかにある。
- ヨーロッパ言語の研究者は話者に、日本語や中国語を含む他言語の研究者は、聞き手を含む社会集団全体をより重視する傾向がある。
- ブラウンらの礼儀正しさについての分析によると、敬語的応答も冗談めかした応答も礼儀正しさの一形態として分析可能であり、特定の集団や状況では、敬語よりも冗談の方が適切である場合がある。
- ブラウンらによると、礼儀正しさには否定的礼儀と肯定的礼儀があり、前者は不快感回避の必要性を強調し、後者は友好性を強調する。

2. 説明の正確性 (30点)

- 文章の内容を正確に日本語に翻訳・解釈しているか。

3. 文章構成と論理性 (20点)

- 論理的かつ一貫性のある構成か

4. 表現力と日本語の自然さ (10点)

- 日本語として非常に自然で、専門的な内容を正確かつ適切に表現しているか。

長文出典

Adapted from *Introducing Sociolinguistics*, by Miriam Meyerhoff, Routledge, 2006, pp.83-85.